

認定第1号 令和3年度東郷町一般会計

歳入歳出決算認定について

討論一覧(討論順掲載)

反対討論 山下茂 議員

「研究用」抗原検査キット購入～配布に関しては町の無知、無作為が原因による数多くの問題が確認されている。「規制当局から再三行政指導を受けている問題企業から、事前チェックせずにキット購入決定」、「本製品の使用をしないようにとの国からの指導通達を認知していながら、本来指導監督にある立場の町があろうことか自らその製品を購入/配布」、「対策本部の医学専門家である藤田医大感染症対策室への事前相談なく購入」、「検査結果が信用ならないこの「研究用」抗原検査キットを配布したことで、新成人ひいては町民間での感染拡大を誘発しかねないリスクを指摘されていながらその対応を怠った」。今回の失態は町そして対策本部としてのガバナンスが機能していない事に他ならない。本件だけガバナンスが機能しなかった例外とすることには客観的合理性はなく、決算全体の信頼性そのものを大きく棄損するもので、プロセスの改善是正措置を求めるためにも不認定とする。

賛成討論 門原武志 議員

令和3年度の実質収支額は9億6574万6600円で、単年度収支は9382万8688円の黒字。以前は一般会計の実質収支額が例年3億円台から4億円台で推移してきたことから見ると、昨年度も異例だったと言える。財政調整基金は、令和4年度一般会計予算での取り崩しを加味すると残高は17億8280万円ほどが見込まれる。これを新型コロナウイルス感染症対策基金1億円とともに活用し、新型コロナ感染症への対応や、円安不況への対応を積極的にするよう期待する。新型コロナ感染症対策では、検査キットの確保など常に先手をうってきたこと、ワクチン接種で接種日時を指定する方式に改めるなど教訓を生かした対応も評価する。一方、巡回バスは一部地域の利便が優先された。デマンドタクシーの実証実験が令和4年度の本格実施に繋がったが、じゅんかい君の増便を図らなければならないことが改めて確認されたので、その教訓を生かすよう提案する。

反対討論 加藤達雄 議員

令和3年度東郷町一般会計歳入歳出決算認定の認否について、以下の理由で不認定と致します。ワクチン接種スタート申込み管理の無作為は、予約取りに想像以上の狂騒劇に繋がりました。周辺市が行った高齢の方から順に年齢を区切って接種券を発送する等配慮に欠け、実施後多くの改善要求にも応えず、最後まで大きな不安と憤りを募らせた事は重大であります。二つ目に、じゅんかい君の編成替え。じゅんかい君の運行目的である「交通空白地域解消」と「利便性の向上」を、反故にするもので、この編成替えで、乗車人数が増えましたとの町コメントに啞然とします。この年でも働けると喜んでいた人、東郷診療所に定期診察に行っていた人、半日で買い物を済ませていた人、郊外から学校に通っている子ども達、数えればきりがありません。これら多くの交通弱者を切り捨てる、地域公共交通政策の根本を揺るがす編成替えは認めるわけにはいきません。

賛成討論 中野まさひろ 議員

総合的には的確かつ積極的な執行が行われたが、不十分なものを3点指摘する。1、「新型コロナウイルス感染症予防対策事業費補助金」について。一店舗10万円を上限に90店舗、総額900万円の予定が、実績は39店舗、290万円余りに。制度のスタートが遅く、金額が周辺自治体と比較して少額であったことが要因。2、「防災ラジオ貸与事業」について。当初80人分の見込みに対し、実績は1人。対象を「緊急通報システム」設置者であるひとり暮らしの高齢者で、携帯電話を所持又は所有していない者という厳しい要件が利用を妨げた。3、じゅんかいバスの再編に対する町民の皆さまの不満の声の多さについて、各意見に真摯に対応いただくよう強く要望する。「新型コロナ研究用抗原検査キット」について。成人式の参加者への送付や業務の停滞防止のための職員への使用は、急激な感染拡大期における、必要な説明をした上での対応であり問題ない。

賛成討論 山田達郎 議員

反対討論された意見についてはおっしゃる通りです。委員会で判断できずに退席しましたが、私はいつも小回りの利く東郷町から全国に発信と声を上げていますので早急な行動は認めますが内容がまずかった。検査キットは近隣も東郷町に続けと購入しており迷惑がかかる。町長には何をすることも大切な税金という事を忘れずに今後につなげていただきたい。東郷町の発展を期待し賛成討論とする。